

平成 28 年度 第 13 回通常総会 開催報告

平成 28 年 5 月 13 日(金)、山口県の ANA クラウンホテル宇部において、平成 28 年度第 13 回通総会が開催されました。第 13 回通常総会は、原点回帰の思いも込めて当 NPO 法人が誕生した山口県の地で行われました。特別文化講演には、京都府宇治市にある国宝・平等院鳳凰堂の扉絵修復を手掛けられた日本画家の馬場良治氏をお招きし、ご講演頂きました。



中川理事長挨拶



総会全景

(1)通常総会

通常総会は、中川理事長の挨拶の後、山口大学進士教授を議長として選出し、議事録署名人の選出、議案審議の順に進められました。議案審議では、平成 27 年度事業および収支決算、平成 28 年度事業および収支予算計画を北村理事、鈴木昌次前幹事長、岡村正典新幹事長が報告し、承認されました。また、長きに渡り NPO の運営に多大な貢献をされ、この度幹事長職を退任されました鈴木昌次氏と、同時に幹事長を献身的にサポートされて来ました松尾勉副幹事長より退任挨拶が行われました。

新たな幹事会人事について岡村正典新幹事長、高橋浩新副幹事長および新設された四国支部より、福家佳則四国支部長から新任挨拶が行われました。



鈴木前幹事長による 27 年度活動報告



岡村新幹事長による 28 年度計画説明

また、平成 27 年度の理事長特別表彰として、トンネルマイスターに石田土木㈱ 道林健児郎氏、トンネルマイスター奨励賞に村田建設㈱ 田熊仁一氏が選任され、表彰が行われました。



石田土木㈱ 道林健児郎氏



村田建設㈱ 田熊仁一氏

(2)特別文化講演『文化財修復~壁画修理における技法について~』：馬場 良治氏

山口県宇部市出身で文化財調査・修元の専門家である、馬場良治氏をお招きしご講演いただきました。国宝・平等院鳳凰堂の扉絵修復における技法については、経年劣化による顔料の剥落止めの施工に、魚の内臓やサメの切り身、戦前の古い膠などをブレンドして熟成させた、微生物由来の特殊な溶液を用いたことなどを面白・可笑しく説明いただきました。また、顔料として有名で非常に貴重な鉱石「ラピスラズリ」についても、なぜフェルメールは、この金より貴重といわれたラピスラズリをふんだんに使用できたのか・・・？ など、見識高く、非常に興味深い話で講演を締めくくられました。



馬場氏ご講演の様子

馬場先生のご講演のなかで、魚の浮き袋を煎じて週 2~3 回飲むことにより、目・耳などの老朽化が防止できる・・・「と思います」との事ですので、会員の皆様方では是非とも臨床してみても如何でしょうか!!

(注)強烈に臭いとの忠告もございました。



参加者の記念写真

(記録：西原直哉)